

さぼう早川

平成28(2016)年

10月発行
(vol. 93)

発行・連絡先／国土交通省関東地方整備局 富士川砂防事務所 早川出張所

〒409-2713 南巨摩郡早川町保1227 TEL0556-45-2319

http://www.ktr.mlit.go.jp/fujikawa/ (Eメール)fujikawa@ktr.mlit.go.jp

「キャンパス砂防二〇一六」開催
砂防の理解度を高めることを主目的として

「砂防公開講座二〇一六」開講

富士川砂防事務所は、八月二十二日(月)から二十六日(金)まで現場体験学習を通じて、中山間地域における砂防の理解度を高めてもらうことを主目的に、砂防を専攻する大学生を対象に「キャンパス砂防二〇一六」を開催しました。

今年度は大学生五名を対象に、現地見学会や歴史的施設の視察等を行いました。また、北杜市白州町で行われた砂防校外受業においてはパネルを作成し、土砂災害防止に関する啓蒙活動などを行いました。

初日には辻早川町長より「早川町と砂防」に関する講話があり、早川町の厳しい自然環境や、脆弱な地質等についての講話を賜りました。

最終日には参加者からの研修レポート報告があり、砂防事業に関する関心を深め、現地を実際に体験でき、地域の抱える問題点などを学ぶことが出来た為、非常に有意義な場になったとの報告がありました。



辻早川町長講話



砂防校外授業 パネル説明

親子砂防教室開講

砂防公開講座とは、広く一般の方々を対象に土砂災害からいかに身を守るべきかなどの必要な知識を学んで頂くとともに、砂防事業への理解を深めて頂くことを目的に、講座と現地見学を行うものです。

特に今年度は雨畑川に整備された「稲又第三砂防えん堤」が完成十五周年ということもあり、これを記念して当えん堤において現地見学会を開催しました。(稲又第三砂防えん堤は、高さ50mのアジアでも有数の大規模砂防施設です。)

また、甲斐市において「砂防公開講座」を開講し、土石流の模型を使った、砂防えん堤の施設効果の説明や、土砂災害についての講演を行い、山梨県在住の住民や小学生等約二十名の参加を頂き、大変好評を得ることができました。

来年度以降も同様の講座を開講する予定です。皆様方から御参加頂ければ幸いです。



現地見学の様子



砂防公開講座

「内河内第五砂防えん堤」一期工事完成について



完成 (一期工事)



着工前 (一期工事範囲)



監理技術者 小林 和夫

早川支流の内河内川上流部で「内河内第五砂防えん堤工事」の一期工事が完成しましたので、お知らせします。
 (工期 平成二十六年二月十三日から平成二十八年九月三日まで)
 内河内川は大断層である糸魚川―静岡構造線が横断しており、極めて脆い地質となっています。
 この様な地形から台風時期や降雨の度に多数の沢から大量の土砂が押出し、現場までの工事用道路が寸断する場面もあり、通行不能となった事態が数回発生しました。
 今回砂防えん堤の整備を行うことにより、土砂の流出が抑制され、早川地域の生活環境を守る役割が大いに期待されます。
 地元の皆様には砂防事業に関する御理解・ご協力を頂き、完了する事が出来ました。ここに深く感謝の意を表します。

災害に対するリスク管理について

「災害の自助・共助・公助について」
 防災対策や災害対応を考えるうえで、自助・共助・公助という考え方があります。
 「自助」とは、自らの身は自分で守ること。「共助」とは近隣の方がお互いに助け合って、地域を守ること。
 「公助」とは、公的な機関による災害対応や、復旧対策活動のことを指します。
 もし災害が発生した場合は、公的機関が行う「公助」の他に、自ら守る「自助」はもちろん、近隣の人が助け合う「共助」がとても重要になってきます。
 「自助」「共助」「公助」が三位一体となり、それぞれの役割を十分に果たすことにより、初めて最大限の「減災」という効果がなされます。
 日頃からこれらのことを十分に理解し、それぞれの立場での防災対策を考えておくことが、非常に重要です。

